

大地

Vol.74

R5 新年号



「大観峰から望む阿蘇の雲海」 (熊本県阿蘇市)

「雲海」とは、高度の高い位置から見下ろしたとき、雲を海に替える気象景観のこと。朝晩が冷え込む時期や、雨上がり時などに阿蘇のカルデラ内を覆いつくす幻想的な雲海が現れます。

Contents

Greeting

- 新年のご挨拶 水土里ネット熊本 会長 荒木 泰臣 …… 1
- 第17期(平成31年4月～令和5年3月末日)役員名簿 …… 1
- 新年にあたって 全国水土里ネット 会長 二階 俊博 …… 2
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 進藤 金日子 …… 3
- 新年のご挨拶 全国水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 宮崎 雅夫 …… 4

Action

- 「農業農村整備の集い」が開催 …… 5
- 土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動 …… 5
- 「第44回全国土地改良大会沖縄大会」が開催 …… 6
 - ・農村振興局長表彰 後藤 三雄 氏(前水土里ネット熊本理事・前菊陽町長)
 - ・全土連会長表彰 高野 和夫 氏(水土里ネットひとよし理事長)

- 「令和4年度水土里ネット役職員研修会」を開催 …… 7
- 土地改良団体における男女共同参画推進について …… 7
- くまもと水土里ネット女性の会による「水土里マルシェ」が開催 …… 8
- 「全国水土里ネット女性の会研修会」が開催 …… 8

Information

- 緑の流域治水(田んぼダムの取り組み)普及啓発に向けた支援 …… 9
- 令和4年台風14号豪雨災害に対する取り組み …… 9
- 「2022くまもと農業フェア」が開催 …… 10
- 令和5年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要 …… 10
- 本会独自のきめ細やかな会員支援策の取組みについて …… 10
- 「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展2022」優秀作品 …… 11
- 土地改良法律相談のご案内 …… 11
- 複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内 …… 11
- 第45回全国土地改良大会福井大会のお知らせ …… 11



水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)

Kumamoto Prefederal Federation of Land Improvement Associations

新しい農業農村を目指して



新年のご挨拶

水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)

会長 荒木 泰臣

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝のうちに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、日頃より本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年のロシアによるウクライナ侵攻以降、国際情勢は大きく変化し、経済安全保障・食料安全保障等の重要性はこれまでにない高まりをみせております。このような中、農産物の国内生産の拡大と『食料自給力』の強化は、私ども農業政策に関わるものに課された喫緊の課題ともいえます。

これらの課題を解決するため、令和5年度の農業農村整備関係予算額につきましては、全土連の二階俊博会長を先頭に、進藤金日子顧問並びに宮崎雅夫顧問はじめ、各方面における関係者の方々のご努力により、補正予算と当初予算を合わせて本年度と同水準の予算が確保されることとなりました。

この農業農村整備は、農業の生産性を向上させるだけでなく、農村地域の防災・減災対策として国土強靱化につながる役割も担っており、予算額の確保はその重要性について、広く国民の理解が進んでいることを示すものでもあります。併せて、今回の補正予算では、農業農村整備関係予算のほか緊急経済対策として「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」が創設されました。この中では、土地改良区における農業水利施設の電気料金高騰等に対する支援など、農林水産業における物価高騰対策なども盛り込まれており、地域の実情に応じたきめ細やかな支援が期待されております。

また、第五次男女共同参画基本計画を受け本会は、国及び熊本県、全土連等と連携し、女性理事登用等の取組みを推進しております。本年は、2025年度（令和7年度）までに、土地改良区における女性理事の割合を10%とする目標達成に向けた本格始動の年といえます。

本会といたしましても、これまで以上に女性活躍に向けた環境づくりを推進すると共に、農業の持続的発展と、多様な人が住み続けられる農村振興の実現に向け、長年培ってきた技術力と経験値を最大限に活かしつつ、各関係団体と協力し会員の皆様と共に役職員一丸となって果たすべき役割と使命を全うして参ります。

結びとなりますが、本年が穏やかな一年でありますとともに、皆様にとりまして希望に満ちた年となりますよう心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



令和5年1月4日 仕事始め式にて

●第17期(平成31年4月～令和5年3月) 役員名簿

(令和5年1月現在)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------------|----|---------------------------|------|------------------|----|-----------------------------|----|----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------------------|----|------------------------|----|-----------------|----|-----------------|----|------------------------|----|-------------------------|------|------------------|-----|-----------------|-----|---------------------------|----|-----------------|
| 監事 | 岡村 文明 (百太郎溝土地改良区理事長) | 監事 | 北野 安正 (熊本平野南部土地改良区理事長) | 総括監事 | 吉良 清一 (南阿蘇村長) | 理事 | 中村 三千人 (小宮地新田地区土地改良区理事長) | 理事 | 森本 完一 (錦町長) | 理事 | 竹崎 一成 (吾北町長) | 理事 | 藤本 一臣 (永川町長) | 理事 | 本田 二男 (阿蘇土地改良区理事長) | 理事 | 古庄 廣美 (泗水町土地改良区理事長) | 理事 | 早田 順一 (山鹿市長) | 理事 | 中逸 博光 (長洲町長) | 理事 | 新野 真司 (三角町土地改良区理事長) | 理事 | 村上 義博 (熊本市南土地改良区理事長) | 常務理事 | 久保田 修 (学識経験者) | 副会長 | 元松 茂樹 (宇土市長) | 副会長 | 坂田 孝志 (八代平野北部土地改良区理事長) | 会長 | 荒木 泰臣 (嘉島町長) |
|----|-------------------------|----|---------------------------|------|------------------|----|-----------------------------|----|----------------|----|-----------------|----|-----------------|----|-----------------------|----|------------------------|----|-----------------|----|-----------------|----|------------------------|----|-------------------------|------|------------------|-----|-----------------|-----|---------------------------|----|-----------------|

新年にあたって

全国水土里ネット
(全国土地改良事業団体連合会)

会長 二階 俊博

令和5年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、様々な感染対策を講じた上で、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動の両立を図るウイズコロナの方針が示されました。皆様におかれましては、「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ、引き続き、感染拡大防止に十分ご留意いただきますようお願いいたします。

また、昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり、一部の国では穀物の輸出規制が実施されるなど、食料流通の機能不全や食料価格の高騰など食料安全保障をめぐる負の影響が国際社会に生じました。

国内では、農業者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、燃料価格の上昇に伴う農事用電力料金の急激な高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。このような国内外の情勢にかかわらず、食料安全保障の観点から、日本の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

岸田内閣は、こうした状況を踏まえて「食料・農業・農村基本法」の見直しに着手しました。この検討の動きを注視しつつ、我々土地改良関係者は、農業・農村の喫緊の課題に積極的に取り組んでいく必要があります。

令和5年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,457億円を確保することができました。この結果、令和4年度の補正予算を含めると6,134億円となります。

また、令和4年度補正予算において燃料価格の上昇に伴う土地改良区の電気代高騰分の七割を支援する仕組みが導入されました。御尽力をいただいた当局をはじめ関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、我々土地改良団体における喫緊の重要課題となっています。

将来の組織体制の強化・発展のためにも女性参画を進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

さて、私は本会の会長に就任以来「闘う土地改良」を掲げ、組織一体となって闘ってまいりました。昨年の参議院選挙においては、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員が見事に当選を果たされました。宮崎雅夫参議院議員と共に「車の両輪」となって、全国を駆け回り、皆さんの声を聞き、土地改良予算の確保だけでなく、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声が国会に届くよう、二人の活動の支援をお願いいたします。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員

進藤

かねひこ
金日子

新年、明けましておめでとうございます。熊本県土地改良事業団体連合会の皆様には、旧年中、大変お世話になりました。お陰様で先般の参議院議員選挙で再選を果たすことができました。二期目においても、引き続き現場主義、地域主義に徹して政策実現に努めてまいりる覚悟です。本年も何卒宜しくお願い致します。

懸案の土地改良予算については、昨年12月に成立した令和4年度補正予算で1,677億円（TPP等対策：760億円、国土強靱化5か年加速化対策：817億円、食料安全保障対策：100億円）が措置され、また、令和5年度当初予算政府原案は昨年度より4億円増加の4,457億円で、補正予算と合わせて6,134億円となりました。これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、本年度と同様に地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えています。

さて、昨年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症が続く中、2月のロシアのウクライナへの侵略により、エネルギー価格の上昇、穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、これらは国民生活に大きな影響を与えています。政府は、エネルギー価格や電気料金、肥料価格等の高騰対策を講じてきたところですが、これらを含め物価高は本年も続くと思われます。引き続き、物価動向を注視しながら必要な対策を講じることが重要であり、私も各種対策の実現に貢献してまいりる覚悟です。

昨年7月の再選後、全国各地で講演等を行ってまいりました。そこで感じたのは、経済安全保障と食料安全保障に対する国民の意識の高まりです。昨年後半の円安の進行も踏まえ、各種生産拠点の国内回帰をはじめ国内での強靱なサプライチェーン再構築の緊急性を改めて認識しております。

また、昨年6月の参議院決算委員会で、私は政治信条である「食料安全保障」について岸田総理に対し質問しました。総理からは「食料の安定供給の確保は国家の国民に対する最も基本的な責務の一つ。新しい資本主義のビジョンの下、食料安全保障を強化するべく政府一体となって取り組んでいきたい」との答弁を頂きました。

私は、「食料供給力」（国内生産力、輸入力、備蓄）の中で弱体化している国内生産体制の強化が喫緊の課題で、まさに「食料自給力」の強化が不可欠であると訴えています。その最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、自給力の強化を図るには、農地と水の持つ機能を高める土地改良を中長期的な展望を持って推進していくことが重要です。このため、今後も予算を安定的に確保するとともに、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、目に見える成果を出していく必要があります。

本年も土地改良推進に対する貴連合会の皆様のご協力をお願い致しますとともに、皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げます。新年のご挨拶にさせていただきます。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員

宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。令和5年の新春を迎え、熊本県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の水と土を守り、農業の発展や農山村の活性化に向け、農業農村整備事業の円滑な推進や土地改良施設等の適切な管理ならびに土地改良区の適正な運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の議員活動に対し多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、昨年8月まで農林水産大臣政務官を勤めさせていただきました。その間、皆様方から多くのご要請等をお受けし、それぞれの課題解決に向けて一所懸命に取り組みさせていただき、これらのご要請の事項を含め、昨年12月に成立した令和4年度第2次補正予算では、農林水産関係で総額8,206億円、うち、農業農村整備事業関係については、1,677億円が措置され、この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金高騰対策として、増加分の7割を支援する新たな制度も含まれています。また、令和5年度当初予算の概算決定額において、前年を上回る4,457億円が閣議決定され、合計額で6,134億円となる見込みとなりました。これから行われる国会での議論において、しっかりと確保できるよう引き続き一所懸命に努めてまいります。

さらに、昨今の国際情勢や長引くコロナ禍により、農業農村にも多くの影響が及んでいますが、そうした中でも、電気料金高騰だけでなく肥料や飼料などの資機材価格の高騰やカロリーベースで6割程度を輸入に頼る我が国の食料事情にあつて、我が国の食料安全保障の確立に向けた取り組みが大きな課題となっております。我が国の人口は減少傾向にある一方で、昨年11月には国連から世界人口が80億人に達したとの発表があり、2100年には109億人に到達するとの予測もあります。生命の維持に欠かすことができない食料の確保は、全ての人々が健康で充実した生活を送るための基礎として、極めて重要です。世界の各国が、充分で、安全かつ栄養ある食料を「誰でも」「いつでも」「入手」できるよう、我が国においても自国での生産能力を可能な限り向上させることが、世界的な責任でもありと考えています。

国内の農業生産に欠かせない資源が「農地・水」であり、その整備を行うのが「土地改良」そのものです。農業従事者の高齢化や減少に対応するスマート農業の推進や頻発する自然災害に対応した農村の強靱化など、時代の要請にも応えながら土地改良をしっかりと前に進めていくことが重要です。皆様からのご意見をしっかりと伺いしながら、将来の農業農村の発展につながるよう、土地改良の重要な役割を認識しつつ、積極的に対応していく決意です。

私も、卯年の今年には年男を迎えますので、「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の要請と実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりたい決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、熊本県土地改良事業団体連合会ならびに関係機関の益々のご発展と、皆様方のご健勝を心より祈念申しあげ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



●「農業農村整備の集い」が開催

「農業農村整備の集い」が全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの共催により、令和4年10月20日（木）、東京都千代田区のシェーンバツハ・サボーにおいて開催された。全国水土里ネット会長会議顧問進藤 金日子参議院議員、宮崎 雅夫参議院議員、農林水産省から野村 哲郎農林水産大臣の代理として藤木 真也農林水産大臣政務官をはじめ農村振興局幹部、衆参両院の国会議員が多数出席し、全国の土地改良関係者を合わせて1,000名以上が参集し開催された。



◆主催者挨拶 全国水土里ネット 二階 俊博会長

全国各地から農業農村整備の集いに出席頂いた土地改良関係者に対し謝辞を述べられた後、「令和5年度予算確保並びに食料安全保障の強化のため土地改良事業推進など、土地改良関係予算の確保に向け、闘っていかねばならない」と力強く訴えられた。



「農業農村整備の集い」会場の様子



全土連二階会長より水土里ネットやまなし 萩原氏（全国水土里ネット女性の会初代会長）へ感謝状の授与

土地改良における男女共同参画の先駆的な取り組みが評価され、山梨県土連の萩原 丈巳氏（全国水土里ネット女性の会初代会長）に感謝状が授与された他、胆沢平野土地改良区（岩手県）の及川理事長から「女性理事の登用について」の事例発表も行われるなど、全国規模での男女共同参画を推進する機運の高まりを感じる大会であった。

●土地改良事業団体連合会九州協議会による要請活動

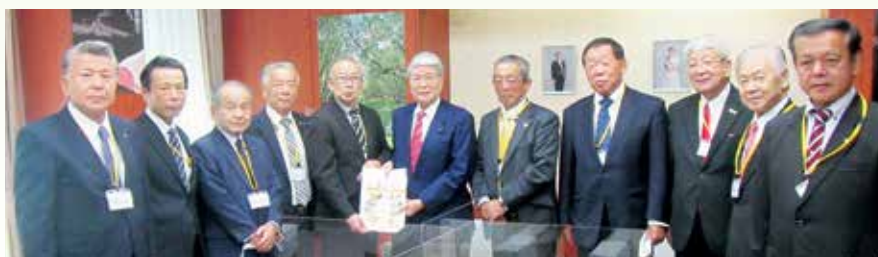
令和4年10月20日～21日にかけて、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同での農林水産省・財務省並びに関係国会議員等、関係各機関に対する合同要請・要望活動を実施した。

本会からは、荒木 泰臣会長、坂田 孝志副会長、久保田 修常務理事、他事務局2名が参加した。

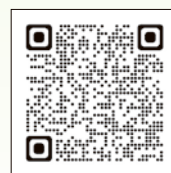
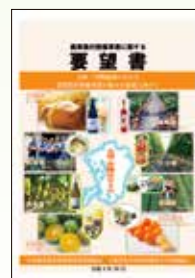
今回の要請・要望活動では、野村 哲郎農林水産大臣、青山 豊久農村振興局長、安部 伸治農村振興局次長、青山 健治整備部長、秋野 公造財務副大臣へ面談し、令和5年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに国土強靱化対策に必要な予算措置など要望書記載の6項目について積極的に要請・要望活動を展開した。



青山 豊久農村振興局長への要請・要望活動
【農林水産省 農村振興局長室にて】



野村 哲郎農林水産大臣への要請・要望活動
【農林水産省 大臣室にて】



▲要望書
詳細はこちら

農業農村整備事業に関する要望書

●「第44回全国土地改良大会沖縄大会」が開催

第44回全国土地改良大会（沖縄大会）～水土里の拓くみるく世を鳴らしとゆまし守禮の邦から～

令和4年11月22日（火）、沖縄県沖縄市の「沖縄アリーナ」において全国土地改良大会沖縄大会が開催された。本会からは、坂田 孝志副会長、元松 茂樹副会長、久保田 修常務理事他9名の理事（後藤 三雄前理事含む）・監事並びに事務局4名が参加した。加えて熊本県からは、青木 公平首席審議員、伊藤 寿朗技術管理課長が参加され、県下の土地改良区から19団体30名を合わせた総勢48名が本全国大会に参加した。



「全国土地改良大会沖縄大会」会場の様子



熊本県参加者集合写真

大会式典の中で行われた土地改良功績者表彰では、前熊本県土地改良事業団体連合会理事（前菊陽町長）の後藤 三雄氏が農林水産省農村振興局長表彰を、ひとよし土地改良区理事長の高野 和夫氏が全国土地改良事業団体連合会長表彰をそれぞれ受賞された。

ひとよし土地改良区の高野 和夫理事長においては、全国45名の全国土地改良事業団体連合会長賞を受賞された方々を代表しステージに登壇され、二階 俊博全土連会長より直接表彰状が手交された。

また、次期開催については、令和5年10月11日（水）に福井県「サンドーム福井」にて開催されることが発表され、大会旗が沖縄県土連から全土連へ、全土連から次期開催県である福井県土連へと引き継がれ、大会は成会裡に終了した。



農林水産省農村振興局長表彰
後藤 三雄前本会理事（前菊陽町長）



全土連二階会長よりひとよし土地改良区
高野 和夫理事長へ全土連会長表彰状の手交



会場にて記念撮影 写真左より坂田副会長、後藤前理事、
高野理事長、元松副会長

◆農林水産省農村振興局長表彰 前本会理事（前菊陽町長） 後藤 三雄氏



- ・令和4年10月に勇退されるまで、菊陽町長を連続4期16年間、県土連理事を14年間、おおきく土地改良区理事長を通算8年間務められるなど、様々な要職を歴任。
- ・平成28年熊本地震を契機とした「九州・沖縄各県土連による大規模災害発生時の技術者派遣に関する連携支援協定」の締結に尽力。

◆全国土地改良事業団体連合会長表彰 ひとよし土地改良区理事長 高野 和夫氏



- ・旧人吉土地改良区の頃より、土地改良区理事を39年もの長期に渡り歴任、その後平成29年に理事長就任。
- ・地域の土地改良区合併を推進され、運営基盤強化に尽力。
- ・令和2年7月豪雨を受け、県が進める“緑の流域治水（田んぼダム）”の取り組みを積極的に推進。

●「令和4年度水土里ネット役職員研修会」を開催

令和4年11月7日（月）、メルパルク熊本にて本会と熊本県の共催で、県内土地改良区の運営基盤強化を目的として「令和4年度水土里ネット役職員研修会」を開催した。

本研修会は、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、県内60土地改良区から127名が参加した。

今回の研修会は、午前と午後の2部制で開催された。まず本会 久保田 修常務理事の主催者挨拶に始まり、午前の部の研修では、熊本県農村振興局 青木 公平首席審議員より「国及び熊本県の農業情勢について」、社会保険労務士 菅原 孝二氏より「適切な職場環境の構築と法令遵守の重要性について」、(株)日本政策金融公庫 中村 朋広課長より「農業基盤整備資金について」の講演をして頂いた。

午後の部は、全国土地改良事業団体連合会及び熊本県土地改良区運営基盤強化協議会主催により「男女共同参画推進」に関する研修会が行われた。

全国土地改良事業団体連合会土地改良研究所 三木 秀一所長より「土地改良団体における男女共同参画の意義、基本事項について」及び「手引きの使い方について」の講演、九州農政局農村振興部土地改良管理課 中村 博文課長より「男女共同参画の実現に向けて」の講演が行われた。

最後に、熊本県農林水産部農村振興局 清藤 浩文局長の挨拶により閉会した。



久保田常務理事による主催者挨拶



青木首席審議員の講演



菅原社会保険労務士の講演



全土連三木所長の講演



九州農政局中村課長の講演



清藤農村振興局長による閉会挨拶



研修会会場の様子

●土地改良団体における男女共同参画について!!

女性参画推進は、多様性社会の活力を高め、地域社会・経済に活力をもたらすなど、農業・農村を継続させるために重要なことです。

令和2年12月には、第5次男女共同参画基本計画が閣議決定され、女性理事ゼロの土地改良区をゼロ、土地改良区（連合含む）の理事に占める女性の割合が10%と成果目標に設定されました。

また、令和3年3月に閣議決定された土地改良長期計画には土地改良区（土地改良区連合含む）の理事に占める女性の割合が10%以上とする成果目標が設定されました。

いずれも目標年度は2025年度（令和7年度）です。

※全土連HPより引用



▲啓発ポスター詳細はこちら



全土連では関係機関が連携し検討して頂くために、上記の「男女共同参画推進」啓発ポスターが製作されました。

●くまもと水土里ネット女性の会による「水土里マルシェ」が開催

くまもと水土里ネット女性の会が主催し、令和4年11月5日（土）に水土里ネット熊本屋外スペースにおいて令和元年以来3年ぶりに「くまもと水土里マルシェ」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、多数の地域住民及び土地改良関係の皆様にご来場いただきました。

マルシェでは、県内各地の新米の食べ比べやジビエスープの試食を行ったほか、県内各地の新米や新鮮な野菜、果物、花類の販売を行いました。学習コーナーでは「田んぼダムの取り組み」や「水源かん養システム」のジオラマ模型、水土里ネットの活動に関するパネル展示を行い、アンケートとともにクイズに回答いただいたことで、子どもたちからご年配の方まで、幅広い年代の方々に水土里ネットの様々な取り組みを理解して頂くことが出来ました。

アンケートの中では、“毎年開催してほしい”との意見も多数寄せられており、今後も女性の会の活動の一つとして継続して参りたいと思っております。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



くまもと水土里ネット女性の会集合写真



水土里マルシェの様子



くまもと水土里ネット女性の会
マスコットキャラクター

【くまもと水土里ネット女性の会】

県内土地改良団体関係機関（土地改良区、県、県土連）の女性職員等で構成（96名_令和4年度）されており、平成30年度より活動しています。

●「全国水土里ネット女性の会研修会」が開催

令和4年10月21日（金）、全国水土里ネット女性の会は、東京都千代田区の砂防会館別館において、「全国水土里ネット女性の会研修会」を開催した。本県からは全国水土里ネット女性の会の西 彩副会長（本会菊池・阿蘇支所長）及び、くまもと水土里ネット女性の会の田尻 千恵会長（三角町土地改良区）他5名が出席した。研修では、参加者同士でグループワークが行われ、男女共同参画の意識醸成に関する課題や課題解決に向けた具体策等について活発な意見交換が行われた。



全国水土里ネット女性の会役員

左より、副会長 今枝氏（愛知県土連）、会長 根本氏（あきた水土里ネット女性の会会長）、副会長 西氏（本会）、事務局長 野口氏（全土連）



研修会会場の様子

●緑の流域治水(田んぼダムの取り組み)普及啓発に向けた支援

令和2年7月豪雨災害に伴う球磨川流域の治水対策として熊本県が取り組む“緑の流域治水(田んぼダム)”に対して本会は、県と連携すると共に、人吉球磨地域土地改良区連絡協議会や球磨川流域水土里ネット連携協議会などのほか、本会独自の活動を通して本年度もその取り組みを積極的に支援しています!!

これまでの具体的な取り組みとして、一昨年5月に開催された“田んぼダムせき板設置式典”をはじめ、地元の小学生を対象にした「田んぼの学校」や、県立南稜高校の生徒が地元の町立あさざり中学校の生徒を対象に授業を行う「田んぼジュニアハイスクール」、地域のリーダーを育成する「田んぼダムマイスター」等の取り組みに対して、行政及び教育機関と連携し、積極的に普及啓発を行うと共に、取り組みの拡大に向けた活動を支援しています。



田んぼダムせき板設置式典(人吉市)



田んぼジュニアハイスクール(あさざり中学校)



田んぼダムマイスター講習会

また、県では田んぼダムの効果や農作物への影響などについて、客観的評価が極めて重要であるとの認識のもと、第三者委員会「田んぼダム効果等検証委員会(委員長:渡邊紹裕京都大学名誉教授)」が設置されています。

この委員会には、行政・利水分野を代表し本会の久保田常務理事が選任されており、他の委員(4名)と共に、田んぼダムの効果を検証し普及していく上での課題に対する対応方策等について、多角的な視点から提言が行われています。

水土里ネット熊本は、今後も関係各機関と緊密に連携し、様々な機会を活用することで、田んぼダムの取り組みを普及啓発して参ります。



田んぼダム効果等検証委員会



田んぼダム関連ポスター



ポスター▲
詳細はこちら

●令和4年台風14号豪雨災害に対する取り組み

令和4年9月18日～19日、九州に上陸した台風14号豪雨災害により、球磨・阿蘇管内において甚大な被害が発生しました。水土里ネット熊本は、当該管内9市町村からの緊急要請により、関係市町村職員と協力し初期対応となる被災地の現地調査を行いました。また、その後の災害査定に向け災害対策室を本部3階研修室に設置し集中的に対応しました。

この災害対策室には、本会職員により即時に対応班が編成され(4班体制:ベテラン・中堅・若手等の組合せ)、平成28年熊本地震や、令和2年7月豪雨災害などの大規模災害対応で培われた経験を最大限生かし、迅速かつ効率的な業務遂行と共に、技術力・対応力の研鑽と継承が図られました。

なお、本会は熊本県内における全被災地区数127件のうち約5割の67地区に携わり、計画的に災害査定(11月28日～12月16日)を完了することができました。



現地調査状況(水上村)



被災状況(水上村)



災害対策室の状況

●「2022くまもと農業フェア」が開催

熊本県内の農畜産物などをPRする「2022くまもと農業フェア」が、令和4年11月12日（土）、13日（日）、合志市の熊本県農業公園「カントリーパーク」にて令和元年度以来3年ぶりに開催されました。

水土里ネット熊本は、熊本県農村計画課と共同企画による展示ブースを出展し「田んぼダムの取り組み」や「水源かん養システム」のジオラマ模型に加えて、「土地改良団体における男女共同参画推進」「世界かんがい施設遺産」に関するパネルなども展示し、様々な取り組みについて広く情報発信を行いました。両日とも天候に恵まれ、当初の想定を上回る多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了しました。



2022くまもと農業フェア開会式典



田んぼダムの取り組みジオラマ模型



農業フェア(県と本会の共同ブース)の様子

●令和5年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

農林水産省は、令和5年度農村振興関係予算概算決定の概要並びに令和4年度補正予算を公表しました。

(単位：億円)

| 区分 | 令和4年度 当初予算 | 令和5年度 当初予算 (A) | 令和4年度 補正予算 (B) | 合計 A+B |
|---|---------------|-------------------|-------------------|-----------|
| 農業農村整備事業 (公共) | 3,321 | 3,323 (100.1%) | 1,677 | 5,000 |
| 農業農村整備関連事業 (非公共) (農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業、農山漁村振興交付金) | 540 | 543 (100.6%) | - | 543 |
| 農山漁村地域整備交付金 (公共) (農業農村整備分) | 591 | 591 (100.0%) | - | 591 |
| 計 | 4,453 | 4,457 (100.1%) | 1,677 | 6,134 |

(注) 計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

●本会独自のきめ細やかな会員支援策の取り組みについて

近年、農村地域の都市化、混住化に伴い土地改良施設における転落事故等に加え、施設老朽化の進行により、その危険性は日々増大しています。

これらの施設を管理する土地改良区(連合)においては、日常の適切な維持管理に加えて、施設利用者(組合員)以外の方々に対する安全性確保が求められています。

そのような中、本会としましても土地改良施設に対する安全性確保並びに事故防止対策は極めて重要であり、私ども水土里ネットに課された責務であるとの認識から、令和5年度より本会独自の取り組みとして“注意喚起看板を支援”することと致しました。

(デザインは、全土連の農業用水利施設の安全対策啓発ポスターを活用予定)

この注意喚起看板は事故を未然に防ぐために大変有効な対策です。関係者の皆様におかれましては、「ここは危ない!!」という危険個所の再点検と共に、設置のご検討をお願いします。

【問合せ先：水土里ネット熊本 会員支援課 096-348-8802】



注意喚起看板
デザインのサンプル

「未来へつなごう!ふるさとの^{みどり}水土里子ども絵画展2022」優秀作品

「未来へつなごう!ふるさとの^{みどり}水土里子ども絵画展2022」には数多くの作品のご応募ありがとうございました。

おかげをもちまして、全国から2,993点、熊本県から40点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞31作品、地域団体賞44作品、入選126作品、佳作203作品が選考され、熊本県からは地域団体賞1作品、入選1作品、佳作4作品が選ばれました。

来年度も引き続き、県や市の教育委員会を通じ小学校や幼稚園、保育園へご案内いたしますので、関係の皆様方には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本県の優秀作品

水土里ネット熊本会長賞



「小天のみかん」
小天小学校 3年生

入選



「守ろう 小天のみかん山」
小天小学校 3年生

佳作



1「イナゴと猫」
太田郷小学校 4年生



2「自然のかむじゆ」
小天小学校 6年生



3「ぼくのほごり、北横町の自然」
小天小学校 5年生



4「きれいな田と水」
龍田西小学校 2年生

土地改良法律相談のご案内

問題解決をサポートします!

近年、土地改良事業を取り巻く環境は、施設の多様化や農村地域の都市化・混住化により諸問題等が複雑化・高度化してきています。こうしたことから、本会では土地改良相談等事業により法律に関する相談業務を弁護士に委嘱し、会員の皆様の問題解決に努めておりますので、問題等がございましたらご相談ください。なお、相談内容についての事例を、ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

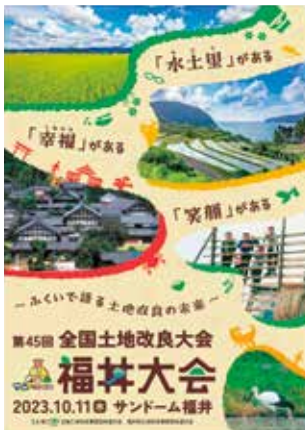
相談窓口・担当課：会員支援課 会員支援係 野村 電話：096-348-8802 (直通)

複式簿記・財務管理強化へのサポートのご案内

土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。このことから、本会の職員(会計指導員)が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等の円滑な複式簿記導入を支援しています。

また、財務管理に関するサポートとして本会職員(会計指導員)が顧問税理士と協力し電話やメールによるご相談にお答え致します。詳細は、ホームページに記載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：総務課 財務経理係 電話：096-348-8801 (直通)
西岡 kenji.nishioka@higosanae.or.jp 石井 daisuke.ishii@higosanae.or.jp



第45回 全国土地改良大会福井大会のお知らせ

令和5年10月11日(水)、第45回全国土地改良大会福井大会(全国土地改良事業団体連合会、福井県土地改良事業団体連合会主催)が、「サンドーム福井」を会場に開催されます。



■発行所/水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
〒861-8005 熊本市北区龍田内3丁目15番1号
Tel 096-348-8801 Fax 096-348-8011
■編集発行人/荒木泰臣
■印刷/株式会社 城野印刷所

